

日本地域経済学会 第24回(高知)大会プログラム

■2012年12月1日(土)

11:00~13:00 ○理事会

【高知県立大学永国寺キャンパス 本館2階「2階会議室」】

13:30~16:30 ○地域公開シンポジウム

【高知県立大学永国寺キャンパス 本館2階 203教室】

『「農」と「食」のつながりを通じた地域の再生へー課題先進地・高知からの発信ー』

□なお、地域公開シンポジウムは下記の関係団体との共催により開催します。

共催：高知大学人文学部、高知短期大学、高知短期大学社会科学会、土佐まるごと社中

【パネラー】

- ・前田 和彦 氏 (高知県産業振興推進部中山間地域対策課 課長)
- ・居長原 信子 氏 (株)十和おかみさん市 社長)・大槻 拓郎氏 (同事務局)
- ・丸井 美恵子 氏 (NPO 法人土といのち 副理事長・運営委員長)
- ・大貝 健二 氏 (北海学園大学経済学部 准教授)

【コーディネーター】

- ・岩佐 和幸 (高知大学人文学部)

16:45~17:30 ○総会

【高知県立大学永国寺キャンパス 本館2階 203教室】

18:00~20:00 ○懇親会

【高知パレスホテル EZE】

※高知県立大学から懇親会会場まで徒歩10分

■2012年12月2日(日)

9:00~12:30 ○自由論題

【高知県立大学永国寺キャンパス】

《第1分科会》 テーマ:地域産業実証分析

【南学舎135室】

【座長】鈴木 茂 (松山大学)・高原 一隆 (北海学園大学)

- (1) 渡部 いづみ (浜松学院大学)
：地域資源の活用と地域経済活性化の可能性～浜松地域繊維産業の再生と課題～
- (2) 中西 三紀 (高知大学)
：宝石サンゴと地域経済ー主産地・高知県を事例として
- (3) 竹田 英司 (大阪市立大学)
：袋物産業の地域内ネットワークに関する実証研究：東京都東武東横線を事例として
- (4) 小田 利広 (大阪市立大学大学院)
：グローバル化時代におけるリサイクル・ビジネスの変容と地域経済
ーN社のペットボトルリサイクルビジネス事例を中心にー
- (5) 横田 数弘 (富山高等専門学校)
：船員輩出地域の状況変化ー新潟県下越を中心としてー

《第2分科会》 テーマ:地域政策に関する諸検討

【南学舎136室】

【座長】富樫 幸一 (岐阜大学)・藪谷 あや子 (人間環境大学)

- (1) 三輪 仁 (九州国際大学)・池島 祥文 (横浜国立大学)
：都市周辺部農地に対する政策的二面性と地域形成ー北九州市郊外農業地域を対象として
- (2) 遠藤 聡 (京都大学公共政策大学院)
：制度論的地域経済学の潮流と政策論的含意ー知識経済化段階の日本経済を念頭に
- (3) 森賀 盾雄 (愛媛大学)
：地域に根ざした農山漁村再生人材育成基盤の形成ー「知識経営論」の適用による地域密着型人材育成の展開ー

- (4) 森賀 盾雄 (愛媛大学) ・柳生 侑香 (愛媛大学大学院)

：地域産業複合体形成と地域特性要因の活用—愛媛県宇和島市の真珠・柑橘産業を通じて—

- (5) 槌田 洋 (日本福祉大学)

：地域経済のグローバル化と内発的発展～スウェーデンの事例

< 報告 25 分 ・ 質疑 12 分 (その後 3 分以内で次の報告者と交代) >

12:30～13:20 昼食

13:30～16:30 ○共通論題シンポジウム

【高知県立大学永国寺キャンパス 南学舎 137 室】

『「人口減少社会」と地域再生』

【主旨】

我が国は、2005 年より人口減少社会に突入した。今後、その人口減少が激化することが予想される我が国の中で、今後の地域再生戦略をいかに構想すればよいのだろうか。地域の人口が安定的に維持され、住み続けられる地域社会の構築を地域再生の目指す方向とすれば、その構想の中核をなすのは「雇用創出」となる。地域に人口を定着させるためには、雇用機会を地域内に作り出すことが何よりも優先される。それは、東日本大震災の現状を見れば明らかである。近年は、中山間地域や地方都市などにおいて、20 代から 30 代の年齢層を中心にソーシャルビジネスを自ら立ち上げ、社会的課題の解決と雇用創出を同時に目指す動きも活発化している。我が国の産業構造がモノからサービスへ雇用の重心が移動する中で、このような動きをどのように評価すればよいのだろうか。さらに、これまでの硬直的な雇用制度も大胆に変更する必要がある。

「人口減少」を今後の我が国の与件と位置づける論調が多い。果たしてそうであろうか。この「流れ」をこれまでの政策の結果であるとするならば、地域再生に向けた新しい政策により今後の「流れ」は変えられる。地域再生の戦略をその「流れ」を変える地域政策と位置づければ、その政策立案が喫緊の課題となる。共通論題シンポジウムでは、この政策のあり方について、地域経済学の様々な観点から展望する予定である。

【司会】

- ・多田 憲一郎 (岡山商科大学)

【パネリスト】

- ・松谷 明彦 (政策研究大学院大学)
- ・中山 徹 (奈良女子大学)
- ・松永 桂子 (大阪市立大学)

■大会日時・会場

日時：2012 年 12 月 1 日 (土) ～2 日 (日)

会場：高知県立大学永国寺キャンパス (地図参照) 〒780-8515 高知市永国寺町 5-15

■懇親会

大会第一日目の 12 月 1 日 (土)、総会の終了後、懇親会を開催します。高知パレスホテルを会場に 18:00～20:00 を予定しておりますので、奮ってご参加ください。

時間：18：00～20：00 (2 時間飲み放題コース：定員 80 名)

場所：高知パレスホテル EZE (高知県立大学から徒歩 10 分程度)

〒780-0843 高知県高知市廿代町 1-18 TEL：088-825-0100 FAX：088-825-0120

会費：一般 5000 円、院生 2500 円

■昼食

2 日目の昼食は、徒歩 10 分圏内に「ひろめ市場」やレストラン・喫茶店等がございます。ご利用ください。なお、会場周辺地図については当日配布する予定です。

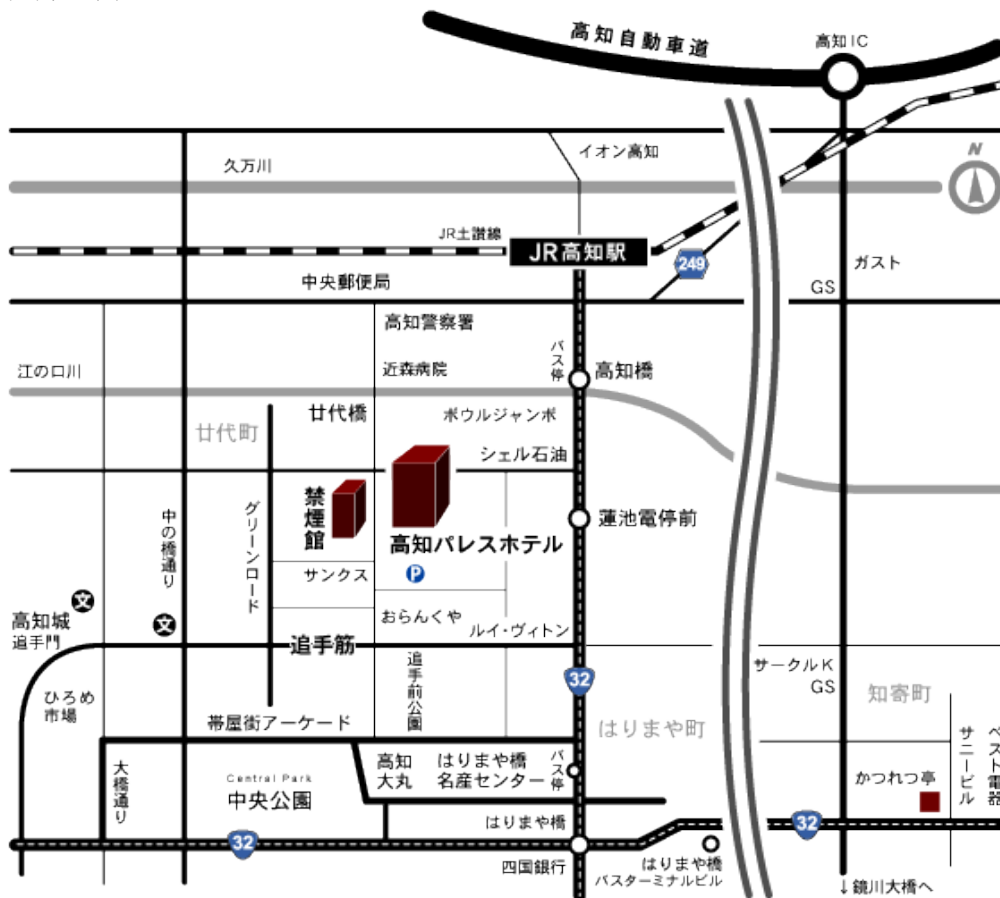
■アクセス・地図

(1) 大会会場：高知県立大学永国寺キャンパス

- ・高知自動車道／高知 IC から車で約 15 分
- ・高知龍馬空港から／車で約 35 分、 空港連絡バスで約 40 分
- ・JR 高知駅から／車で約 3 分、 徒歩で約 15 分



(2) 懇親会会場：高知パレスホテル



※高知県立大学から懇親会会場まで徒歩 10 分